



野球用ヘッドギアのSG基準（公開用）

一般財団法人 製品安全協会

野球用ヘッドギアの SG 基準
Approval Standard and Standard Confirmation Method for
Protective Headgear for Baseball

1. 基準の目的

この基準は、野球用ヘッドギアの安全性品質及び消費者が誤った使用をしないための必要事項を定め、一般消費者の身体に対する危害防止及び生命の安全を図ることを目的とする。

2. 適用範囲

この基準は、野球及び準硬式野球の野手が、打球から頭部を保護するために着用するヘッドギア(以下、「ヘッドギア」という。)について適用する。

なお、ここでいう「頭部」とは、側頭部及び後頭部を覆う部位をいう。

3. 安全性品質

ヘッドギアの安全性品質は、次のとおりとする。

項目	基準	
1. 外観、構造及び寸法	1. ヘッドギアの外観、構造及び寸法は、次のとおりとする。 (1) 帽体内面には、頭部を傷つけるおそれのある堅い突出物等がないこと。 (2) 帽体に固定されたスナップ及びその他の堅い突出物は、帽体外表面から0mm 以上突き出していないこと。 (3) 帽体には、傷、割れ、ひび、まくれ等がなく、縁は丸みをもっていること。 (4) 走者、また、野手同士で交錯した際に、本人及び接触者を傷つけるような角部等がないこと。 (5) 着用者の頭部によくなじむ構造であり、脱げやすい構造ではないこと。 (6) 帽子の上から装着できるものであって、投球や送球の妨げにならない構造であること。 (7) 左右、上下の視野が十分とれる構造であること。	

項目	基準	
	<p>(8) 著しく聴力を損ねない構造であること。</p> <p>(9) 着用者が正常な状態で着用したとき、側頭部及び後頭部を十分に覆う構造であること。</p>	

項目	基準	
2. 耐衝撃性	<p>2. ヘッドギアは、衝撃試験を行ったとき、0m/s^2以上の衝撃加速度を生じることがなく、かつSI値が0を超えないこと。</p> <p>また、人体を傷つけるおそれのある破片等が生じないこと。</p>	
3. 材料	<p>3. ヘッドギアの内容は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 内装体及び着装体(帽体及び内装体以外のものを総称していう。)は、着用者の汗等により変質しない材料で作られていること。</p> <p>(2) 耐しよく性材料以外の金属材料は、防せい処理が施されていること。</p>	

	<p>(3) 正しい着用方法及び状態、並びに保護範囲</p> <p>(4) 用途以外には使用しないこと</p> <p>(5) 個々の製品を使用する選手を限定するように推奨すること</p> <p>(6) 使用を開始してから3年を経過した製品は使用しないこと</p> <p>(7) 購入年月または使用開始年月を所定の記入欄に記載すること</p> <p>(8) ヘッドギアは外部から受ける衝撃の軽減を図るものであり、全ての傷害を防ぐことはできないこと</p> <p>(9) 使用上の注意</p> <p>① 頭によくあったヘッドギアを正常に着用すること</p> <p>② 一度でも大きな衝撃を受けたり、ひび割れ等の損傷や変質が生じたヘッドギアは、使用しないこと</p> <p>(10) 手入れ上の注意</p> <p>① ヘッドギアの手入れに用いる洗剤、溶剤等、又はそれらの使用上の注意</p> <p>(11) プロ野球の選手が使用した場合にはSGマークの補償制度の対象とならない旨</p> <p>(12) SGマーク制度は、ヘッドギアの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度である旨</p> <p>(13) 製造事業者、輸入事業者若しくは販売事業者の名称、住所及び電話番号</p>	
--	---	--